

監査報告書

社会福祉法人宝塚さざんか福祉会の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度における事業の遂行状況並びに財政状況につき、常務理事並びに事務局長より説明を受け、会計帳簿及び証憑書類並びに関係書類に基づき、とくに現金及び預金の出入りに重点をおき監査を実施し、併せて法人及び各事業所の事業遂行状況を精査したところ、正確かつ適正に処理されていると認めます。

各事業所の事業遂行状況に関して、自主生産品の収益増などいくつか改善すべき点はあるものの、年間を通じ各事業ともそれぞれ常に利用者本位の支援を心掛け、日々誠実に実践していることを大きく評価します。

しかし、一方で制度改正による事業収入の減少や業務量の増大、そして現場では利用者全体の重度化・高齢化等による支援の困難さも非常に大きな課題となってきました。

現在、法人としては、重度対策のための職員加配や健康管理担当の看護師5名の配置及び送迎バスの充実等々出来る限りの努力をされていますが、今後ますます厳しくなる状況に対処するためには限られた原資をどう有効に使っていくかが大きな鍵となってきます。

今後の事業運営については、利用される側のご意見を尊重するとともに、お互いが知恵と力を出し合い、より良い課題解決が図られることを希望します。

監査日 平成26年5月20日（火）

監査場所 宝塚さざんかの家 理事長室

監査実施者 監事 塚本壽一 大野セツ子

平成26年5月23日

監事

塚本壽一



監事

大野セツ子



社会福祉法人宝塚さざんか福祉会
理事長 松井 美弥子 様

監査報告書別紙

監査対象とした関係帳簿

- 1 事業活動収支計算書
- 2 貸借対照表
- 3 財産目録
- 4 資金収支計算書
- 5 預金証書その他、各種残高証明書、現金在り高書
- 6 パソコンによる総勘定元帳並びに証憑書類

なお、これらの原本はいずれも直ちに閲覧精査できるように整理されていると認めた。